

発言順位	10番
------	-----

三島市議会議員 16 番 宮下 知朗

質問事項 1	「住むなら三島」移住・定住の更なる促進に向けて
<p>具体的内容</p> <p>私たちが日常生活を送るために必要な各種サービスは、一定の人口規模の上に成り立っており、これらのサービスを今後も継続・改善していくためにも、定住・関係・交流人口増加に資する地域の特性や時流を捉えた施策に鋭意取り組んでいくことが必要不可欠であると考えてる。</p> <p>コロナ禍でリモートワークの普及など多様な働き方が広がったことなどを理由に、地方移住に対する関心が高まる中、静岡県は移住希望地ランキングで2年連続1位を獲得するなど人気が高く、こうした移住定住に対する機運の高まりを好機と捉え、より積極的な施策を展開することで「住むなら三島」と多くの皆様に選んでいただけるまちとすることが、本市の持続的な発展に繋がる1つの方策であると考え、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 移住定住応援サイト閲覧数およびオンライン移住相談件数の推移について伺う。 2 本市の転入・転出数の推移について伺う。 3 中古住宅の取引状況について伺う。 4 中古住宅取得に対する支援拡充について見解を伺う。 5 「お試し移住」に対する支援について見解を伺う。 6 ニーズの高い「新幹線通学補助」の可能性を伺う。 7 市内居住者の定住促進（住宅取得支援）策について見解を伺う。 	
質問事項 2	部活動の地域移行について
<p>具体的内容</p> <p>2022年6月にスポーツ庁の有識者会議「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が、8月には文化庁の有識者会議「文化部活動の地域移行に関する検討会議」が、2023年度から2025年度末までの3年間を改革集中期間とした、休日部活動の段階的な地域移行を提言した。</p> <p>少子化や教員の業務負担軽減などの課題を解消し、子どもたちの多様な経験機会を確保するための取り組みであることは理解するが、保護者や地域でスポーツ指導に携わる方々から今後進展する部活動改革に対する不安や期待の声を耳にする。</p> <p>本市における部活動の地域移行が今後どのように進んでいくのか、以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中学校部活動の現状を伺う。 2 部活動指導員・外部指導者の活用による成果について伺う。 3 本市の目指す「部活動の地域移行」の形について伺う。 4 指導者人材の確保に向けた取組について伺う。 5 今後の進め方について伺う。 	